

県内14市当初予算案集計

(単位千円、▲はマイナス)

市	予算額	前年度比	工事請負費	構成比
鹿児島市	201,026,000	5.7	27,910,407	13.8
薩摩川内市	46,180,000	▲10	4,948,875	10.7
鹿屋市	30,732,000	4.6	3,999,574	13
国分市	21,355,000	6.4	4,047,760	18.9
名瀬市	20,692,963	▲6	1,395,265	6.7
出水市	15,718,000	▲1.4	887,426	5.6
指宿市	12,396,000	▲1.9	408,228	3.3
枕崎市	10,192,000	▲4.2	562,959	5.5
加世田市	10,165,000	4	1,025,894	10.1
串木野市	9,992,000	▲4.7	409,530	4.1
阿久根市	9,983,000	▲4.8	695,094	6.9
大口市	9,200,000	▲19.4	258,829	2.8
垂水市	8,155,000	▲17	358,225	4.4
西之表市	7,712,000	▲16.6	400	0.01
合計	413,498,963	0.02	46,908,466	11.3

本市では、このほど発表された県内14市の17年度一般会計当初予算案についてまとめた。予算案は総額413億498万963千300円、前年度当初比0.02%（1億741万7000円）の微増。工事請負費には全体の11.3%を占める46億908万466千600円が盛り込まれ、前年度を10.6%（4億9198万3000円）上回る結果となった。

本紙では、このほど発表された県内14市の17年度一般会計当初予算案についてまとめた。予算案は総額413億498万963千300円、前年度当初比0.02%（1億741万7000円）の微増。工事請負費には全体の11.3%を占める46億908万466千600円が盛り込まれ、前年度を10.6%（4億9198万3000円）上回る結果となった。

本紙調べ

県内14市17年度当初予算案集計

工事請負費

前年度比10.6%増の469億円

国分市、鹿児島市などで増

各市の総額では、合併の増額。県内合併の先陣を切った薩摩川内市は、鹿児島市が2000億円、鹿屋市は10億円超、純合算による比較としな

がらも50億円を超える大幅増となった。このほか大口市で19.4%、垂水市で17%の各減、市長選挙に伴う骨格予算を編成した西之表市は16.6%の減となった。14市のうち10市が前年額を下回り、

財政緊縮化への動きが顕著に表れる結果となった。工事請負費の構成割合を見ると、国分市と国分中の校舎改築事業等に工事請負費約20億円を盛り込んだ国分市（構成比18.9%）が最も高く、鹿児島市（同13.8%）、鹿屋市（同13%）、薩摩川内市（同10.7%）、加世田市（同10.1%）などが続く。一方、構成比が5%にも満たなかつた自治体は、大口市（同2.8%）、指宿市（同3.3%）、垂水市（同4.4%）などで、新規事業はもとより住宅、施設整備など建築関連の工事請負費が予算計上されなかった点が響いた。なお、経常的経費等を中心とする骨格予算を編成した西之表市は、6月補正予算で工事請負費を含めた本格予算を計上する見通しだ。

全建理事会

新年度事業計画案決める

会費1協会一律10万円削減

前田会長は、理事会後「少額でも見直すことが

度（建設費）の削減を

必要」との考えに基づき、各協会会費一律10万円、計470万円（会費270万円、特別会費200万円）の削減を推進し、



大平和久氏



山本克也氏

収入役は渡邊眞一郎氏

技術助役に山本氏起用か

鹿児島市は15日、3月31日の任期満了に伴う助役や収入役などを選出し、同意を求めるべく17年第一次市議会定例会に提出した。

木村耕一技術担当助役の後任には、国土交通省から山本克也氏（都市・地域整備局道路課特定都市交通施設整備室長）を起用。また、事務担当助役と収入役は同市役所内から起用し、戸川堅久事務担当助役の後任に、大平和久氏（総務局長、収入役は渡邊眞一郎氏

コンクリートをワイヤーで切る時代！

切れ者参上

- ダイヤモンドワイヤーソーイング
- ワイヤーソーイング（スラブ切）
- コンクリートカットソーイング
- コンクリートボーリング（500φ）

■ドラ（ロー）ドリル（掘削機）

■掘削機（ミカドアンカー工事）

■道路区画線（ライン工事）

JCSOA MEMBER

株式会社 西部システム

鹿児島市中町26-32 0995-46-8015

3面に民間工事ニュース

このほか、赤崎義則前鹿児島市長に鹿児島市名誉市民の称号を贈りたいため、同議会に同意を求める。

「けんぴん」話が入った。「無事産まれたよ。男の子だった」。涙で声を詰まらせた。初孫の誕生を知らせてくれた。陣痛から丸二日間、寝ずの看病だっただけに、感激もひとしおだったようだ。自身がそうであったように初めて我が子を抱いた瞬間の感動は、生涯忘れることはないだろう。常々聞いているもの、孫が我が子以上にいいとおしく感じるのは、何だろう。少子化問題が取り上げられるようになって久しい。政府も出生率の低下に様々な施策を講じているが、決定打のないまま今日に至っている。日本の人口維持に必要な出生水準は2.08人といわれるが、現在1.3人前後。晩婚などが要因とされるものの、息子夫婦を含め多くのカップルが理想の子供の数まで産みたいと考えている。養育費の補助など行政による子育て支援が充実すれば、少しは少子化に歯止めが掛かるのでは。

営業種目

- 建設資材部門
異形棒鋼・H形鋼・鋼板・角パイプ・構造管
グレーチング・ガードレール・HBB・鋼天板
鋼管杭・電機工具・OA機器 他
- セメント部門
普通ポルトランドセメント・高炉セメント
早強ポルトランドセメント・地盤改良剤
無収縮グラウト材・セメント関連商品 他
- コンクリート二次製品部門
箱型擁壁・マザーブロックⅡ型・逆Ⅱ型擁壁
プレガード・ヒューム管・スーパープレス
マルチスリット側溝・PCボックスカルバート
各種組立マンホール・魚礁（プレート） 他

建設資材の総合商社

人づくり、街づくり、夢づくり。

TOSAYA

株式会社 土佐屋

鹿児島市谷山港三丁目4番地8

099-262-3111(代)

【営業部】

鹿児島支店 099-262-3111

始良支店 0995-63-8200

大隅支店 0994-65-8070

北薩支店 0996-53-0820

出水支店 0996-82-1150

【本建設資材部】 099-262-3150

【本セメント部】 099-262-3400

【本事業開発グループ】 099-262-3410

【本コンクリート製品部】 099-262-3420

【本加治木工場】 0995-63-2170

【本出水工場】 0996-82-1150

【本土佐屋生コンクリート部】 099-268-8280